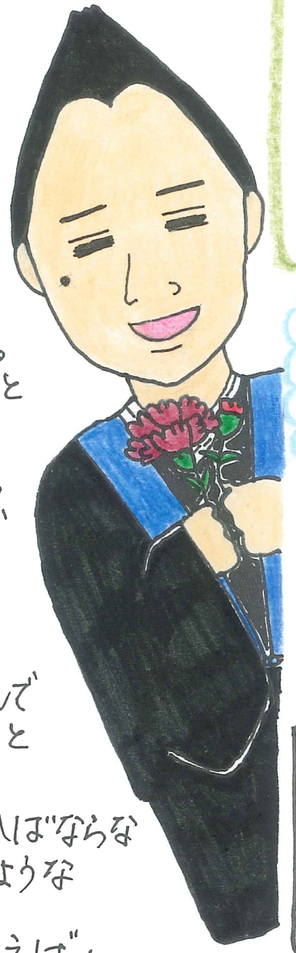
法親寺新聞

2026年 手書き新聞 No.60

皆様、こんにちは。
私たちはよく「死んだらあの世で会おう」と口にしますが、仏教の厳しい視点から見れば、それは決して簡単なことではありません。
そこには「バラバラの行き先」という現実があります。
お釈迦様は私たちは自らが造った「業(ごう)」によって、一人ひとりが別々の世界へと生まれていくと説かれました。これを「独生独死・独去独来(どくしょうどくし・どっきょどくらい)」といいます。
これを現代にたとえるなら、「行き先の違う列車」に乗っているようなものです。家族や夫婦であっても、それぞれが自分の「業」という切符を持ち、ある人は東へ、ある人は西へ。死という駅を境に二度と会えない、バラバラの方向へ向かってしまう。それが私たちの姿です。
そのような孤独な私たちを思い「ひとり残らず浄土へ連れて行こう」と立ち上がってくださったのが、阿弥陀様です。親鸞聖人は、この阿弥陀様の救いを「難度海を渡る大船」とお示しくださいました。
私たちが苦悩の人生である難度海で「阿弥陀様にお任せします」と信じをいただくことは、バラバラの列車を降りて阿弥陀様の大きな船に、大切な方とともに乗せていただくということです。
自分の力(自力)で泳ごうとすれば、罪の重さに沈んでしまいます。しかし、この大きな船はどのような者であっても、そのまま乗せて浄土へと運んでくださいます。永遠の別れであったはずのものが、「しばしの別れ」として受けとめられるようになるのです。
念仏弾圧により、親鸞聖人と法然上人が流罪によって別れなければならなかった「承元の法難(じょうげんのほうなん)」の折、法然上人はこのような歌を詠まれました。
「別れ路の　さのみ嘆くな法(のり)の友　また遇う国の　ありと思えば」
浄土という再び遇える場所があるのだから、そんなに嘆くことはないというお心です。悲しみに沈む親鸞聖人へのお言葉でした。
同じ船に乗せていただいた「法の友」であるならば、先に往かれた方も、後から往く私たちも、行き先はただ一つ、浄土の蓮の上です。
今の別れは永遠のさよならではありません。
「先に往って待っているよ」「あとから必ず行くからね」そのような、しばしの別れへと変わっていくのです。
阿弥陀様の大船にともに乗せていただいている安心の中で、亡き方を偲びともにお念仏申させていただきましょう。

住職　釈信哉



2026年1月15日(木)
西本願寺御正忌報恩講法要・大谷本廟納骨参拝

現地にお越しのご門徒と、大谷本廟仏間にてお勤めし、無量寿堂にある法親寺納骨堂に納めさせていただきました。
その後、本山の御正忌報恩講にも参拝し親鸞聖人のご遺徳を偲ぶとともに、阿弥陀さまのご本願によるお救いを、あらためて味わせていただきました。

2026年1月10日(土)
法親寺報恩講

報恩講は親鸞聖人のご命日をご縁とした、浄土真宗で最も大切な法要です。
お勤めの後、住職の法話をご聴聞いただきました。

〈お知らせ〉お盆法座のご案内

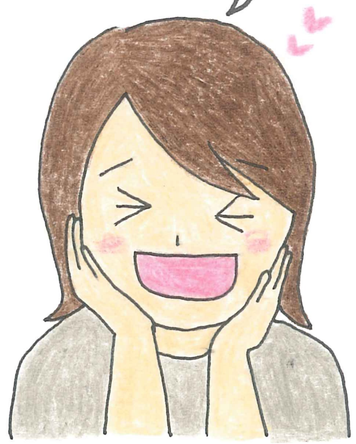
- 日時　令和8年7月12日(日) 13時～
- 場所　法親寺本堂　　講師　住職

※お車は隣接・新接・臨時駐車場へ。

法親寺仏教婦人会 会員募集!

仏法をご縁に、和気あいあいと活動する仲間を募集しています♪
・年会費1000円　・活動内容 年1回の研修会
念珠・しおり・ランタン作り、日帰り旅行など楽しみながら学べる研修会です☆
お気軽にご入会ください。(入会はお寺まで)

釋里蓮のコレがオススメ!!



オハヨー乳業直営カフェ OHAYO GROUNDS

今回ご紹介するのは、ファーマーズサウスヴィレッジにあるオハヨーグラウンズさんです。
私がいただいたのは、雪どけミルクアイスとほっとろプリンです(*^^*)/
アイスだけど、熱い?冷たい?チーズ風味のパリふわとろ食感な不思議スイーツ♪
店員さんが席で炙ってくれて、キャラメルのような香ばしさと、アイスの濃厚さがとても美味しかったです。
自家製プリンは温かくて、とろとろ食感。
体を冷やさない、ホッとするお味です♪
メスティンで出てくる大サイズ(1000円)もあり☆
定休日:月・火　営業時間:10時～17時(L.O.16時半)

↑雪どけミルクアイス(1000円)

↑ほっとろプリン(600円)

TEL:080-2044-0027